

仲間・挑戦

令和6年度の学校の取組

あっという間に4月も半ばを過ぎ、新入生が入学して2週間が過ぎようとしています。今週は、24日(水)に授業参観やPTA総会等も計画されています。お忙しい中とは思いますが、生徒たちの取組の様子を見にお出でください。

さて、学校では教師たちが生徒たちに身に付けさせたい力や行動を、具体的に分かりやすい形で示す「学校教育目標」があります。毎号タイトル部分にも上部に記載しています。令和6年度は、たくましさ柔軟さを兼ね備えてほしい思いから、

★学校教育目標

夢と誇りをもち、自ら学び、仲間とともにしなやかに伸びる生徒の育成としました。

目指す生徒像としては、

①心豊かで、社会性のある生徒(徳)

- ・相手の気持ちを考えた行動や発言をする生徒
- ・無言掃除に取り組む生徒
- ・自分で考え、主体的に行動する生徒
- ・自分の役割や仕事に責任を持ち、最後までやり遂げる生徒
- ・きまりを守り、自律した行動ができる生徒

②自ら学び、共に高め合う生徒(知)

- ・積極的に授業に参加する生徒
- ・読む力、書く力、計算する力を身に付ける生徒
- ・話す人を見て、話を聞くことができる生徒
- ・学習課題について、友人と話し合える生徒
- ・自ら考えて、学ぶことができる生徒

③心身ともに明るく健康な生徒(体)

- ・気持ちの良い挨拶や返事ができる生徒
- ・将来や進路を意識した行動ができる生徒
- ・時間を守り、場に合った身なりや言動ができる生徒

- ・好き嫌いをせずに、残さず食べる生徒
 - ・規則正しい生活を送ることができる生徒
- としています。教師があらゆる教育活動場面で指導や支援を行いながら、今年度取り組んでいく内容です。よろしく御理解ください。

生徒信条とAJISAI宣言

★生徒信条

やればできる 自ら求めて 一歩でも前進

★AJISAI宣言

A……あいさつは立ち止まって元気よく

J……時間見て3分前に行動を

I……いじめゼロしないさせない許さない

S……山内中の誇りにしよう無言掃除

A I ……いつまでも愛していこうAJISAI運動

平成22年度から生徒会活動の一環として、AJISAI宣言と、その後に一礼運動(登下校時に校舎に感謝の意味を込め一礼をする)にも取り組んでいます。裏面には、『武雄市第3期教育大綱』を掲載しています。

5月の行事予定

- 1(水) 1年心臓検診
- 2(木) 尿検査1次(ピロリ菌検査)
- 8(水) 全校集会
- 9(木) 耳鼻科検診(3年・2-1)
- 13(月) 耳鼻科検診(3年・2-2)
- 14(火) 3年修学旅行事前指導
- 15~17(水~金) 3年生修学旅行(南九州)
- 16~17(木~金) 1年生宿泊体験学習(黒髪少年自然の家)
- 21(火) 尿検査2次・教育相談週間(~5/2)
- 22(水) 生徒集会、眼科検診(3年・2-1)
- 23(木) 全国学習状況調査経年調査(国)
- 27(月) 眼科検診(1年・2-2)
- 29(水) 学年集会、防災教室(1年)⑤
- 30(木) QUアンケート、尿検査予備
- 31(水) 歯科講話⑤⑥(1-1・1-2)

『 武雄市第3期教育大綱 』

武雄市教育大綱

Move Forward

未来はわたしたちが創る

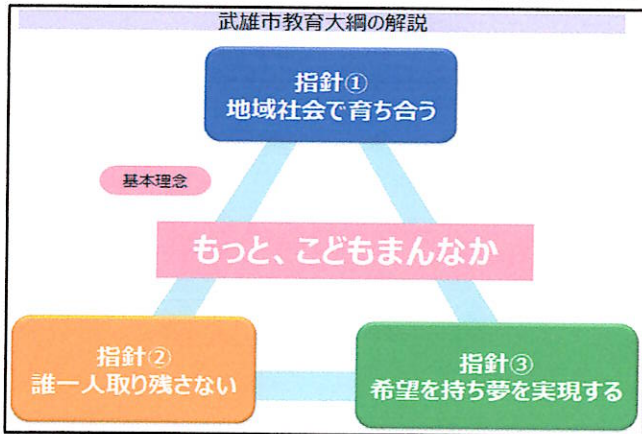
(解説) こどもたちが自ら学び、こどもたち同士が学び合い、こどもたちから大人が学ぶなど、こどもたちだけではなく、武雄に住み、働くわたしたちが未来を創るという決意を表し、そのためにひとりひとりがmove forward (= 行動を起こす) することを表現した。

指針② 誰一人取り残さない

こどもたちの命を守り、安心できる居場所をつくります。子育て世帯やこどもたち、学校、地域などが困りごとを相談しやすい体制づくりを進めます。

また、ひとりひとりの教育環境の状況について相互に理解し、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行うことで、こどもたちの笑顔を育み、誰もが自分らしく幸せに生きることができる環境をつくります。

【キーワード】「伴走型支援」、「居場所づくり」、「相談体制」、「安心」、「笑顔」、「サポート」、「相互連携」



指針③ 希望を持ち夢を実現する

デジタルや英語など将来において身近になる知識や多様性を認め合う寛容さを養い、こどもたちの「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実践する学習環境づくりを行います。

また、たくさんの体験を通じたこどもたちの学びなどを支援し、将来を豊かにする力を育みます。

【キーワード】「未来」、「自立」、「夢と希望」、「成長」、「体験」、「学習支援」、「デジタル」、「多文化共生」、「グローバル」、「生き抜く力」、「文化やアート」、「スポーツ」、「多様性」

<p>高い志と佐賀に誇りを 持った骨太でたくましい 子どもを育てる</p> <p>多様な経験を通して、子どもたちはたくましく成長します。子どもたちの考えを尊重し、失敗を恐れない挑戦を応援していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考え取り組む姿勢を応援し、新しい事に挑戦しやすい環境づくり 地産・地消・安心・安全な食料を子どもが主体的に選択できるように環境づくり ほめるから、はじめる。はじめる。はじめる。 高校生までに様々な経験を積む スクール・交流の第一歩としての学校づくり 地域とは自分や学校の外の方について主体的に議論できる環境づくり 地域と学校が連携した下の地域の特色を活かした取組 佐賀の誇りを伝える活動を通じて誇りをもてる 	<p>豊かな感受性や 人を想う優しさを持った 子どもを育てる</p> <p>新型コロナウイルスの日常で失われた子どもたちの交流と豊かな表情を取り戻し、自然に支え合う子育ての場を創っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個性や能力の長さを伸ばせる環境の創出 作業者、教育者、教育者としての職能 一人の人間性を持って支えあう子どもと向き合う 心が通い合うを大切に意識し行動を変える 不安や悩みを抱える子どもたちのサポートの充実 いろいろな人の生き方を多様な機会を通して学ぶ 制服・標準服・私服を楽しく着る環境づくり マスクは自己防衛という意識の醸成 マスクは自己防衛という意識の醸成 学習者など多様な役割の創出 	<p>佐賀の未来を担う、 多様な個性を持った 人材を育てる</p> <p>佐賀県全体が学びのフィールドです。時代の変化を見極め、創造力や構想力を持つ多様な人材を育てる環境を整えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの自己実現・責任を尊重 自分で決めることの大切さについてメッセージを発信 学校の役割の範囲を決める 県内外の企業や団体と連携し、多様な機会を創出 第一歩としての学校を推進する戦略的取組の創出 県外からも育ち、県外県外への進学を推進する 独自の取組 大学と高校・小・中・高との連携など、一貫連携型の学習者の育成 小・中学生の特色から後援の企業を結び、選択的に連携する体制づくり 様々な部活に挑戦できる機会の創出 大規模なデジタル化を推進
---	--	--

2015年から2018年を第1期、2019年から2022年を第2期とし、「組む」をキーワードに家庭や地域、学校、企業など様々な機関が連携しながら「ふるさと教育」や「保護者や先生が相談できる場所」をつくることなどに取り組まれています。

教育については「武雄に住み、働く全ての人が自分事として捉えられるもの」を基本理念とし、地域や企業も当事者となって関わることを目指すとされました。市のこども教育会議で「企業も子育てに巻き込む」や「声が上げやすい仕組みを作る」などの意見が出され、それを踏まえて「組む」という考えから発展し、武雄に住み働く人が一人一人未来を創るために行動を起こすことを目指して「Move Forward」という言葉が選ばれています。

対象年齢は、18歳までとしていた期間を22歳まで拡大されています。

指針① 地域社会で育ち合う

地域や学校、企業が連携し、地域全体でこどもたちに愛情を注ぎ、郷土愛を育むことで、家族のような居心地の良い地域づくりを目指します。

また、地域みんなで、自分がこどもたちのために当事者として何ができるのかを考え、地域の特性に合わせた支援を行います。

【キーワード】「ふれあい」、「社会教育」、「協働」、「郷土愛」、「ふるさと教育」、「世代間交流」、「支え合い」、「地域づくり」、「学生のまちづくり」、「地域学習」

(2023.8.31 : 佐賀新聞掲載内容引用)